

平成30年度 行政評価シート（新旭川保育所・近文保育所・神楽保育所）の概括

1 施設の概要

	新旭川	近文	神楽
設置年月日	昭和30年6月8日	昭和36年11月1日	昭和42年11月1日
増改築	昭和56年12月 平成19年3月 平成24年3月	昭和58年11月 平成24年3月 (乳児棟増築)	平成21年9月1日 (合築移転)
規模・構造等	敷地面積2,121.063㎡ 建築面積670.114㎡ 延床面積847.662㎡ 鉄筋コンクリート一部2階建	敷地面積2,221.43㎡ 延床面積611.83㎡ 鉄筋コンクリート平屋建	敷地面積6,486.159㎡ (いきいきセンター神楽含む) 延床面積607.676㎡ 鉄筋コンクリート平屋建
利用対象者	保育を必要とする0歳から小学校就学前までの児童及び保護者		
事業内容	保育所の運営 延長保育 特別支援保育 病後児保育	保育所の運営 延長保育 特別支援保育	保育所の運営 延長保育 特別支援保育 一時預かり事業 地域活動(世代間交流事業)に関する事業
運営方法(H30年度職員体制)	正職員 9人 臨時職員 14人 嘱託職員 4人	正職員 9人 臨時職員 16人 嘱託職員 4人	正職員 10人 臨時職員 17人 嘱託職員 4人

2 管理運営の状況

(単位:千円)

(1) 管理経費		新旭川	近文	神楽
支出一収入	H27年度(決算)	97,253	107,689	102,434
	H28年度(決算)	97,221	98,787	100,612
	H29年度(決算)	97,771	100,867	100,613
	H30年度(予算)	108,859	103,427	112,597

(単位:人)

(2) 利用状況		新旭川	近文	神楽
総利用件数 (月初日人数×12月)	H27年度(実績)	1,113	1,223	939
	H28年度(実績)	1,094	1,202	948
	H29年度(実績)	1,084	1,177	937
	H30年度(見込み)	1,013	1,178	952

3 施設の課題

新旭川	近文	神楽
施設設備の老朽化による緊急修繕の頻度が高いため、計画的な改修・設備更新が必要		いきいきセンター神楽との複合施設で暖房調整や点検を自施設でできず、また、機械警備を導入しているが、休館日、休所日が別なため、施設管理面で困難である。

4 公共施設等総合管理計画（施設再編計画）における評価

新旭川	近文	神楽
Dソフト事業等への転換		C複合化・多機能化対応

5 評価

(1) 1次評価(所管部局)

	新旭川	近文	神楽	
活動量と成果	やや高い	やや高い	高い	
入所率	H27年度	103%(定員90人)	106%(定員96人)	119%(定員66人)
	H28年度	104%(定員90人)	104%(定員96人)	120%(定員66人)
	H29年度	102%(定員90人)	102%(定員96人)	118%(定員66人)
保育・看護実習生等の受入	H29年度	55日 延177人	117日 延246人	78日 延219人
保育士再就職支援研修	H29年度	2回(平成30年度は3回予定)		
子育て支援員研修	H29年度	2回		
公開保育	H29年度	1回(近文, 年1回1保育所)		
研修会	H29年度	1回(年1回3保育所合同)		
運営の効率性 →「標準」	<ul style="list-style-type: none"> 国から示される人員、設備及び運営に関する基準に基づいた運営を行っている。 経験豊かな保育士が認可外保育施設の立入調査に同行するなど、専門性を発揮している。 管理・保育業務に係る効率化及び保育士の負担軽減のため、業務の見直し等を検討している。 			
評価及び見直しの内容	入所率は100%を超えており、待機児童解消のほか、実習生の受入、現場実習、座学講師の対応など、一定の役割を果たしてきた。今後は市立としての役割を改めて整理した上で、在り方について検討していく。			